

株主のみなさまへ

第37期第2四半期事業報告書

自 平成 21 年 1 月 1 日

至 平成 21 年 6 月 30 日



DTP& crossmedia support

We support DTP&crossmedia totally
and supply various and delicate service
in spite of analog or digital media.

Lithmatic
東京リスマチック株式会社
<http://www.lithmatic.co.jp/>



ごあいさつ	1
業績報告	2～8
(1) 企業グループの事業内容	2
(2) 売上高構成	2
(3) 業績等の推移（連結）	3
(4) 業績等の推移（単体）	3
(5) 四半期連結貸借対照表	4
(6) 四半期連結損益計算書	5
(7) 四半期連結キャッシュフロー計算書	6
(8) 四半期単体貸借対照表	7
(9) 四半期単体損益計算書	8
個人情報保護及び環境問題への取り組み	9
TOPICS	10～11
会社概要	12
主要な店舗一覧	13



We support DTP&crossmedia totally and supply various and delicate service in spite of analog or digital media.

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

ここに、当社第37期（平成21年1月1日から平成21年12月31日）第2四半期連結累計期間の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響を受け、雇用情勢の悪化、消費の低迷、企業業績への影響など、景気後退の局面が続きました。印刷関連業界におきましても、企業の広告費等の抑制等により、印刷需要は減少し、受注競争は激化するなど、極めて厳しい環境となりました。

このような状況のもと、当社企業グループにおきましては、組織変更を伴う営業体制の強化を図り、店舗ならびに外交営業による営業活動を活性化してまいりました。店舗サービスにおきましては、西新宿店を新宿店に統合、日本橋店を移転し東京駅前店としてリニューアルオープンするなど、店舗効率を見直しております。また、グループ間における、製造の合理化、取扱い商材の拡充などを積極的に推し進めてまいりました。しかしながら、景気後退を受け印刷需要が減少したこと、競争が激化し受注単価が下落したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は71億85百万円（前年同期比1.7%減）となりました。営業損益、経常損益につきましては、売上高が低調に推移する中、運搬費の削減や業務効率の改善などコスト削減に努めてまいりましたが、受注単価の下落による売上高原材料比率の上昇、人件費等の固定費の増加により、営業損失2億56百万円（前年同期は4億47百万円の利益）、経常損失2億21百万円（前年同期は4億89百万円の利益）となりました。当期純損益につきましては、繰延税金資産の一部を取崩し、個別財務諸表の法人税等調整額に25百万円を計上したことにより、四半期純損失2億61百万円（前年同期は86百万円の利益）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

《印刷関連事業》

（サービス事業部門）

サインディスプレイサービスにおきましては、環境負荷の少ない大型UVインクジェットサービスの受注が増加しました。しかしながら、サインディスプレイサービス全体としては、需要は低調に推移し、前年を下回りました。

オンデマンド印刷サービスにおきましては、印刷物1枚1枚の絵柄や情報を差し換えるバリエーションの拡販や従来に比べ高品質なオンデマンド印刷（POD+PLUS）に力を入れ、オンデマンド印刷の新たな需要開拓に努めてまいりましたが、小部数カラー印刷の需要が減少したこと、前年を下回りました。

この他、印刷工程のデジタル化の浸透により、プロ向けサービスである、製版フィルム等のDTP出力サービスが引き続き大幅に減少しました。

その結果、サービス事業部門の売上高は43億74百万円となりました。

（印刷事業部門）

生産面におきましては、UV印刷や環境対応製品の強化、製本後加工の内製化、印刷事故率の低減等を推し進めてまいりました。販売面におきましては、組織変更により店舗と外交営業の管理を一本化し、販売活動の強化と顧客サービスの向上を図ってまいりました。その結果、印刷事業部門の売上高は27億74百万円となりました。

《不動産賃貸事業》

（不動産賃貸部門）

当事業部門の売上高は36百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、国内景気回復の先行きが依然として不透明であることから、個人消費の低迷や企業の広告宣伝費の抑制等による印刷需要の縮小、受注競争の激化といった、当社企業グループにとって厳しい状況が続くと思われます。

このような環境において、当社グループでは、顧客ニーズに対応したサービス体制を整え、店舗販売活動及び外交営業における当社グループのワンストップサービスを最大限に活用したソリューション活動を強化することによって顧客満足度向上による売上高シェアの拡大を図るとともに、業務の改善や経費削減による収益性の改善に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、連結売上高147億円（前年同期比1.9%減）、連結営業損失2億90百万円、連結経常損失2億50百万円、連結当期純損失3億50百万円を見込んでおります。

なお、当期の配当金につきましては、このような厳しい経営環境ではありますが、株主の皆様に対して安定的な利益配当を行うことを基本方針として掲げております当社としましては、1株当たり年間配当金を24円に据え置くことといたします。

今後とも株主のみなさまの一層のご支援とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成21年9月

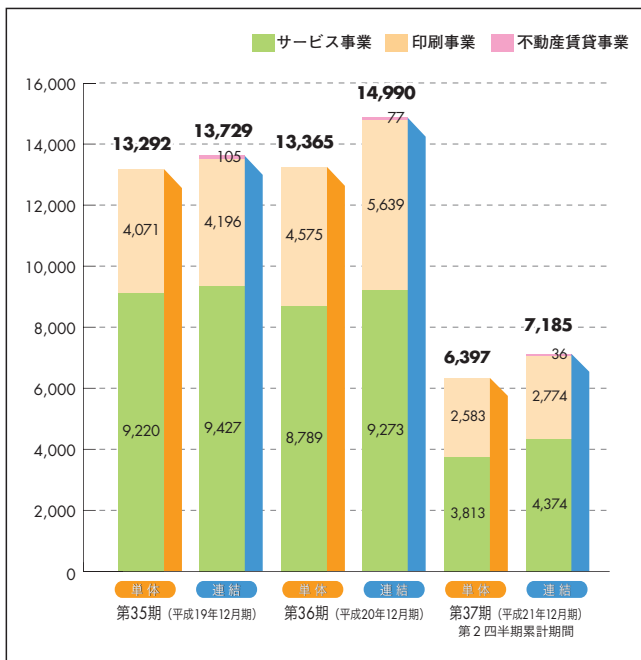
代表取締役社長 鈴木 隆一

(1) 企業グループの事業内容

部 門	事 業 内 容
サービス事業	クリエイティブ業を対象とした DTP サービス オンデマンド印刷 サインディスプレイ
印 刷 事 業	オフセット印刷生産 DM トータルサービス
不動産賃貸事業	所有不動産の賃貸借契約による賃料収入

(2) 売上高構成

(単位：百万円)



(3) 業績等の推移（連結）

区 分	第 33 期	第 34 期	第 35 期	第 36 期	第 37 期 (第 2 四半期累計期間)
決 算 年 月	平成 17 年 12 月	平成 18 年 12 月	平成 19 年 12 月	平成 20 年 12 月	平成 21 年 12 月
売 上 高	千円 12,569,415	12,978,191	13,729,824	14,990,805	7,185,615
経常利益又は経常損失(△)	千円 1,346,546	1,167,067	1,058,721	611,758	△ 221,819
当期純利益又は当期純損失(△)	千円 743,066	616,369	617,974	88,829	△ 261,563
純 資 産	千円 8,335,034	8,763,710	9,180,531	8,200,211	7,829,632
総 資 産	千円 13,862,673	13,979,059	15,335,073	18,829,481	17,398,352
自 己 資 本 比 率	% 60.1	62.7	59.9	43.5	45.0
1 株 当 たり 純 資 産	円 1,677.07	877.25	918.97	888.30	848.15
従 業 員 数	名 771	780	825	935	945

※平成 18 年 10 月 1 日付で、株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。

(4) 業績等の推移（単体）

区 分	第 33 期	第 34 期	第 35 期	第 36 期	第 37 期 (第 2 四半期累計期間)
決 算 年 月	平成 17 年 12 月	平成 18 年 12 月	平成 19 年 12 月	平成 20 年 12 月	平成 21 年 12 月
売 上 高	千円 12,357,040	12,798,236	13,292,731	13,365,125	6,397,470
経常利益又は経常損失(△)	千円 1,206,250	1,006,197	830,426	287,253	△ 307,455
当期純利益又は当期純損失(△)	千円 675,478	536,026	524,572	△ 82,505	△ 329,323
資 本 金	千円 1,257,100	1,279,600	1,279,600	1,279,600	1,279,600
発行済株式総数	株 4,970,000	9,990,000	9,990,000	9,990,000	9,990,000
純 資 産	千円 7,885,202	8,233,534	8,558,511	7,406,991	6,966,318
総 資 産	千円 12,044,797	12,160,514	13,498,047	16,538,193	16,149,057
自 己 資 本 比 率	% 65.5	67.7	63.4	44.8	43.1
1 株 当 たり 純 資 産	円 1,586.56	824.18	856.71	802.37	754.63
従 業 員 数	名 771	780	785	831	843

※平成 18 年 10 月 1 日付で、株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。

(5) 四半期連結貸借対照表

(平成 21 年 6 月 30 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
1. 現金及び預金	1,318,583	1. 買 掛 金	444,903
2. 受取手形及び売掛金	3,261,299	2. 短期借入金	4,900,000
3. 原材料及び貯蔵品	285,486	3. 1年以内返済予定長期借入金	615,332
4. 繰延税金資産	86,654	4. 未払法人税等	29,434
5. そ の 他	216,744	5. 賞与引当金	53,510
6. 貸倒引当金	△ 129,310	6. 繰延税金負債	905
流動資産合計	5,039,456	7. そ の 他	956,402
II 固定資産		流動負債合計	7,000,488
(1) 有形固定資産		II 固定負債	
1. 建物及び構築物	1,702,162	1. 長期借入金	2,095,335
2. 機械装置及び車両運搬具	2,730,579	2. 退職給付引当金	111,386
3. 土 地	5,563,191	3. 役員退職慰労引当金	18,600
4. そ の 他	131,166	4. 繰延税金負債	50,670
有形固定資産合計	10,127,100	5. 負ののれん	121,995
(2) 無形固定資産		6. そ の 他	170,244
1. の れ ん	277,559	固定負債合計	2,568,232
2. そ の 他	328,673	負債合計	9,568,720
無形固定資産合計	606,232	(純資産の部)	
(3) 投資その他の資産		I 株 主 資 本	
1. 投資有価証券	347,006	1. 資 本 金	1,279,600
2. 長期貸付金	74,720	2. 資本剰余金	1,315,700
3. 繰延税金資産	169,729	3. 利益剰余金	5,558,686
4. そ の 他	1,099,430	4. 自 己 株 式	△ 325,808
5. 貸倒引当金	△ 65,322	株主資本合計	7,828,177
投資その他の資産合計	1,625,563	II 評価・換算差額等	
固定資産合計	12,358,895	1. その他有価証券評価差額金	1,454
資 産 合 計	17,398,352	評価・換算差額等合計	1,454
		純 資 産 合 計	7,829,632
		負債・純資産合計	17,398,352

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(6) 四半期連結損益計算書

(自平成 21 年 1 月 1 日)
(至平成 21 年 6 月 30 日)

(単位:千円)

科 目	金 額	
I 売 上 高		7,185,615
II 売 上 原 価		5,694,487
売上総利益		1,491,128
III 販売費及び一般管理費		
1. 運 搬 費	130,245	
2. 給 与 手 当	688,288	
3. そ の 他	929,439	1,747,974
営業損失 (△)		△ 256,845
IV 営業外収益		
1. 受取利息及び配当金	5,132	
2. 営業外地代家賃収入	22,871	
3. 負ののれん償却費	39,213	
4. そ の 他	31,076	98,292
V 営業外費用		
1. 支 払 利 息	43,097	
2. 出資金運用損	10,955	
3. そ の 他	9,213	63,266
経常損失 (△)		△ 221,819
VI 特 別 利 益		
1. 固定資産売却益	8,118	
2. 債務免除益	36,000	
3. そ の 他	16,964	61,083
VII 特 別 損 失		
1. 固定資産売却損	32,547	
2. 固定資産除却損	16,483	
3. そ の 他	4,822	53,852
税金等調整前四半期純損失 (△)		△ 214,588
法人税、住民税及び事業税	13,149	
法人税等調整額	33,825	46,975
四半期純損失 (△)		△ 261,563

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(7) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	四半期連結累計期間 〔 自 平成 21 年 1 月 1 日 至 平成 21 年 6 月 30 日 〕
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△ 214,588
減価償却費	643,384
のれん償却額	△ 21,518
長期前払費用償却費	294
貸倒引当金増加額	41,761
賞与引当金減少額	△ 2,772
退職給付及び役員退職慰労引当金減少額	△ 45,205
受取利息及び受取配当金	△ 5,132
支払利息	43,097
有形固定資産売却損	24,428
固定資産除却損	16,483
売上債権の減少額	451,894
たな卸資産の減少額	22,500
仕入債務の減少額	△ 47,722
破産更生債権等の増加額	△ 21,719
その他	△ 261,952
小計	623,231
利息及び配当金の受取額	3,252
利息の支払額	△ 34,633
法人税等の支払額	△ 2,176
法人税等の還付額	93,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	682,695
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 381,943
有形固定資産の売却による収入	138,027
無形固定資産の取得による支出	△ 37,434
投資有価証券の取得による支出	△ 1,001
投資有価証券の売却による収入	1,200
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 22,995
貸付による支出	△ 30,000
貸付金の回収による収入	56,902
敷金及び保証金の差入による支出	△ 44,834
敷金の回収による収入	113
その他	26,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 295,873
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	83,750
長期借入による収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△ 960,741
配当金の支払額	△ 111,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 888,527
IV 現金及び現金同等物の減少額	△ 501,705
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,815,051
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,313,346

(8) 四半期単体貸借対照表

(平成 21 年 6 月 30 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
(資産の部)	
I 流 動 資 産	
1.現金及び預金	644,062
2.受 取 手 形	644,482
3.売 掛 金	2,143,776
4.たな卸資産	245,218
5.繰延税金資産	69,358
6.そ の 他	887,621
7.貸倒引当金	△ 110,947
流動資産合計	4,523,573
II 固 定 資 産	
(1) 有形固定資産	
1.建 物	1,238,727
2.機 械 装 置	2,695,173
3.土 地	3,924,907
4.そ の 他	151,861
有形固定資産合計	8,010,670
(2) 無形固定資産	296,687
(3) 投資その他の資産	
1.関係会社株式	1,919,737
2.敷金・保証金	773,800
3.繰延税金資産	130,327
4.そ の 他	548,867
5.貸倒引当金	△ 54,605
投資その他の資産合計	3,318,127
固定資産合計	11,625,484
資 産 合 計	16,149,057

科 目	金 額
(負債の部)	
I 流 動 負 債	
1.買 掛 金	419,254
2.短期借入金	4,900,000
3.未払法人税等	17,581
4.賞与引当金	49,000
5.そ の 他	1,508,301
流動負債合計	6,894,138
II 固 定 負 債	
1.長期借入金	2,095,335
2.退職給付引当金	52,475
3.そ の 他	140,790
固定負債合計	2,288,600
負 債 合 計	9,182,739
(純資産の部)	
I 株 主 資 本	
(1) 資 本 金	1,279,600
(2) 資本金剰余金	
1.資本準備金	1,315,700
資本剰余金合計	1,315,700
(3) 利 益 剰 余 金	
1.利益準備金	108,629
2.その他利益剰余金	
別途積立金	4,972,096
繰越利益剰余金	△ 384,711
利益剰余金合計	4,696,013
(4) 自 己 株 式	△ 325,808
株主資本合計	6,965,505
II 評価・換算差額等	
1.その他有価証券評価差額金	813
評価・換算差額等合計	813
純 資 産 合 計	6,966,318
負債・純資産合計	16,149,057

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(9) 四半期単体損益計算書

(自平成 21 年 1 月 1 日)
(至平成 21 年 6 月 30 日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 売 上 高		6,397,470
II 売 上 原 価		5,281,179
売上総利益		1,116,291
III 販売費及び一般管理費		1,450,298
営 業 損 失 (△)		△ 334,006
IV 営業外収益		
1. 受取利息及び配当金	6,356	
2. そ の 他	75,121	81,478
V 営業外費用		
1. 支 払 利 息	40,173	
2. そ の 他	14,752	54,926
経 常 損 失 (△)		△ 307,455
VI 特 別 利 益	57,466	57,466
VII 特 別 損 失	47,369	47,369
税引前四半期純損失 (△)		△ 297,358
法人税、住民税及び事業税		6,341
法人税等調整額		25,623
四半期純損失 (△)		△ 329,323

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個人情報保護への取り組み (プライバシーマーク取得)

東京リスマチックでは、個人情報の重要性を自覚し、プライバシーマークを2004年7月に取得しております。当社で業務に従事する全ての者が、個人情報の大切な保護に努めております。情報保護がビジネスを左右する重要課題であるからこそ、いち早く取り組んでまいりました。情報サービス企業が個人情報保護の思想を理解することは、今日の情報サービスにとって必須の要件と言えます。これからも私たちは個人情報を扱う企業人として、細心の注意を怠らず、お客様が安心できる印刷関連サービスを推進し、個人情報を扱っているという認識と責任を果たしてまいります。



環境問題への取り組み (ISO14001認証)

東京リスマチックでは、「循環型社会システムの構築」が社会の持続的発展に不可欠であるとの認識に立ち、事業活動を通じて環境の保全と資源の確保を念頭においた事業活動をしてまいりました。2005年2月にISO14001の認証を取得、社内においても環境問題に対する方針を設定し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、環境保全を配慮した機材の購入など環境管理を推進しております。

これからも印刷関連サービス業として事業を運営する過程において、地球環境に影響を与えていることを認識し、環境経営を推進してまいります。



登録範囲:

印刷物のデザイン、制作、製版、印刷及び製本における

- ① 省エネルギー・省資源(電力、ガソリン)
- ② 廃棄物の削減(廃フィルム)
- ③ グリーン購入の推進(事務用品、再生紙、機器類)
- ④ 職場環境改善(製造事故率低減、5S、IPA、一般廃棄物)

を推進するための環境マネジメントシステムに適用する。

TOPICS

「見て、さわって、体験する」印刷・販促ツールの体験型ショップ！ 『リスマチック 東京駅前店』誕生！

当社は、本年6月15日(月)に、中央区八重洲に『リスマチック東京駅前』をオープンいたしました。

『リスマチック東京駅前』はショールームによる「体験できる」機能と専門スタッフによる「相談できる」機能を備え、ショッピング感覚で最適な印刷物や販促ツールを気軽に手にとって選べるサンプルショールームです。「もっと判りやすく伝えるには、どんなツールが良いだろう？」そんなツール作りにお悩みの際は、是非『リスマチック東京駅前』の1Fショールームにお立ち寄りください。5つのカテゴリに分けた大量のサンプルが壁一面に展示されていて、実際に手にとってご検討いただけます。また、シチュエーションに応じた様々な販促ツールをPCでご覧いただける『見える事例集』をご用意。サンプルを手にとって体験いただき、シチュエーションをPCで比較いただきながら、より良いご提案をショップ常駐のご相談窓口「コンシェルジュ」がいたします。印刷物、プレゼンテーションツール、サインディスプレイ、ノベルティ、販促ツールなど、さまざまな「伝えたい!」にお応えいたします。



段ボールの新素材。丈夫で組み立て簡単！ ダイレクトプリントや加工も自在なオリジナルディスプレイをご用意 「Re-board」サービス開始！

通常の段ボールよりも丈夫、しかも組み立て簡単で持ち運びラクラク。

「Re-board (リボード)」サービスは販促用POPからバックボードパネルなど、さまざまなシーンで使える、デザイン・形状も自在な、お客様のオリジナルディスプレイを作ることができます。

「Re-board」は強化段ボールでできており、重量物を載せても耐えられるほど頑丈です。それでいて軽々と持ち運べて、廃棄時は100%リサイクル可能な環境にやさしい素材を使用しています。ボードの厚さは8mmと16mmをご用意しており、お客様の多様なご要望にお応えしつつ、什器のデザイン・設計からトータルにご提案いたします。出力・カッティング加工・組み立てまで自社工場で一貫して行いますので、スピーディにご納品することが可能です。



▶各店舗に展示中です。

多彩な特殊印刷で、さらに拡がる表現力! 「付加価値印刷」のご案内

当社では、お客様の多様なニーズにお応えする「水平型ワンストップ」の一環として、昨年12月に子会社いたしました「カガク印刷株式会社」の技術を活かして、「付加価値印刷」はじめとした各種ソリューション（特殊印刷、シール・ラベル印刷、ノベルティ製造受託等）をご提案してまいります。

例えば、見せたいポイントを際立たせるなら「UV厚盛（隆起印刷）、フロッキー印刷、発泡印刷、示温印刷、点字印刷」。3Dから凹凸感、質感まで、変幻自在な見え方を演出するなら、「レンチキュラー印刷、チェンジング印刷、リオトーン印刷、ちぢみ印刷、液晶カプセル印刷」。訴求力抜群の光る効果なら、「ラメ印刷、パール印刷、蓄光印刷、ブラックライト印刷」。視覚以外では、絵柄にあった香りで演出するなら「香料印刷」。キャンペーンやノベルティに最適なのは、「スクラッチ印刷、削りカスのないスクラッチ印刷、フリクション印刷、感紫外線印刷」。遊び感覚でタトゥーやネイルが手軽に転写できるのは「水転写印刷」。その他、「箔押し、エンボス、ニス引き」など様々な後加工をご用意しております。このように通常の印刷にプラスαを付け加えることで、印刷の表現方法が格段に広がります。今後は、お客さまに対し、一歩踏み込んだご提案を日々取り組んでまいります。



UV厚盛印刷



フロッキー印刷

付加価値印刷《100選+α》 サンプルBOXリリース

この度、リスマチックグループとして特殊印刷に特化した『付加価値印刷《サンプルBOX》』をリリースいたしました。実際に見て触っていただくことで、更にイメージを膨らましていただけたと思います。



地球にやさしい環境対応型のインキ

「植物油インキ」印刷対応を始めました

2009年6月より、「植物油インキ」の印刷対応を始めました。植物油インキは、「米油など食用植物油をはじめ、非食用とされる植物油やリサイクル再生油を使用した、より地球にやさしい環境対応型のインキ」です。植物油インキには大豆油の要素も含まれておりますので、「植物油インキ」と「大豆インキ（ソイインキ）」のご希望のマークをご利用いただけます※。当グループは、これからも環境保全に配慮した取り組みを行なってまいります。



- (1) 商 号 東京リスマチック株式会社
- (2) 英 文 商 号 TOKYO Lithmatic Corporation
- (3) 設 立 昭和 47 年 11 月
- (4) 代 表 者 の 役 職 氏 名 代表取締役社長 鈴木 隆一
- (5) 株式の状況 (平成 21 年 6 月 30 日現在)
1. 資本の額 ……………1,279,600 千円
 2. 発行可能株式数 …………… 34,960,000 株
 3. 発行済株式総数 …………… 9,990,000 株
 4. 株主数 …………… 1,145 名
- (6) 本社所在地 東京都荒川区東日暮里 6 丁目 41 番 8 号
- (7) 従 業 員 数 (平成 21 年 6 月 30 日現在)
- 843 名 (臨時雇用者は含まれておりません。)
- (8) 連結子会社 羽陽美術印刷株式会社
株式会社サンエー
ミナト印刷紙工株式会社
株式会社プレシース
カガク印刷株式会社

株主メモ

- 事 業 年 度 1 月 1 日から 12 月 31 日まで
- 定時株主総会 3 月中
- 剰余金の配当の基準日 3 月 31 日、6 月 30 日、9 月 30 日、12 月 31 日
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号
三菱 UFJ 信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号
三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部
- 同 取 次 所 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 全国各支店
- 同事務連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂 7 丁目 10 番 11 号
三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

お問い合わせ先
郵便物送付先

神 保 町	〒 101-0051	千代田区神田神保町1-11-1 DSM神保町ビル TEL.03-5259-1011 FAX.03-5259-1010
東 京 駅 前	〒 104-0028	中央区八重洲 2-6-21 八重洲エフビル TEL.03-3276-5561 FAX.03-3276-5560
新 宿	〒 160-0022	新宿区新宿 3-1-24 京王新宿三丁目ビル TEL.03-5269-0641 FAX.03-5269-0642
恵 比 寿	〒 150-0013	渋谷区恵比寿4-3-8 恵比寿イースト438ビル TEL.03-3447-2791 FAX.03-3447-2790
虎 ノ 門	〒 105-0001	港区虎ノ門 1-6-12 大手町建物虎ノ門ビル TEL.03-3595-4081 FAX.03-3595-4080
カレッタ汐留	〒 105-0021	港区東新橋 1-8-2 カレッタ汐留 B1F TEL.03-6215-8011 FAX.03-6215-8010
銀 座	〒 104-0061	中央区銀座 1-10-6 銀座ファーストビル TEL.03-3567-4701 FAX.03-3567-4700
青山表参道	〒 107-0061	港区北青山 3-5-12 青山クリスタルビル 2F TEL.03-3746-5901 FAX.03-3746-5900
芝 大 門	〒 105-0012	港区芝大門 1-4-8 浜松町清和ビル TEL.03-5472-6171 FAX.03-5472-6170
入船八丁堀	〒 104-0043	中央区湊 2-2-5 ヤハギ湊ビル TEL.03-5543-6501 FAX.03-5543-6500
築 地	〒 104-0061	中央区銀座 2-16-11 片帆ビル TEL.03-3543-6961 FAX.03-3543-6960
水 道 橋	〒 101-0061	千代田区三崎町 2-4-1 TUG-I ビル TEL.03-3238-6791 FAX.03-3238-6793
九 段	〒 101-0051	千代田区神田神保町3-5 住友不動産九段下ビル TEL.03-3265-4651 FAX.03-3265-4650
内 神 田	〒 101-0047	千代田区内神田2-14-6 神田アネックスビル TEL.03-3256-6131 FAX.03-3256-6130
早 稲 田	〒 162-0041	新宿区早稲田鶴巻町 544 中川ビル TEL.03-3269-3861 FAX.03-3269-3070
飯 田 橋	〒 162-0814	新宿区新小川町 1-15 池田ビル TEL.03-3235-6271 FAX.03-3235-6270
文 京	〒 113-0001	文京区白山 1-13-7 アクア白山ビル TEL.03-3818-2461 FAX.03-3818-2460
日 暮 里	〒 116-0014	荒川区東日暮里 6-41-8 TEL.03-3891-5201 FAX.03-3891-5202
サイティスプレイスタジオ 青 山	〒 107-0061	港区北青山 3-3-7 第一青山ビル 2F TEL.03-3478-4831 FAX.03-3478-4830
サイティスプレイスタジオ 神 田	〒 101-0047	千代田区内神田2-14-6 神田アネックスビル 3F TEL.03-3256-1581 FAX.03-3256-1650

